



町村議会議員研修会



県町村議会議員研修会が、平成28年11月18日(金)宇都宮市東市民活動センターにおいて開催されました。

研修会では「町議会を取りまく諸課題」と題し、中央大学名誉教授 今村都南雄氏の講義を受講しました。

主な内容は地方行政体制における議会のあり方ですが、なかでも2元代表制と我々が現在、取り組んでいる議員定数についての講義は参考になりました。

次に「一強、安倍政権の課題と当面の政局展望」と題し、政治ジャーナリストの泉宏氏の講義を受講しました。

アメリカ次期大統領選の直後ということもあり、今後の政局について大変興味深い講義となりました。

命を救うAED講習会



平成28年11月8日、普通救命講習(AED自動体外式除細動器)を那須消防署において受けました。この講習会は、関心が高く平成28年度、25回開催されています。

本町は、119番通報から救急車が現場に到着する時間が、平均9.3分かかっており、いち早く電気ショックを行う初期対応が重要であると説明を受けました。

救急隊の到着前にAED(自動体外式除細動器)による電気ショックを行った場合の社会復帰率は43.3%と大きくなります。

除細動までの時間が1分経過するごとに生存率は約7~10%低下し、心臓が血液を送らなくなると3~4分で脳の回復が困難になることから1分1秒でも早く電気ショックを行うことが大切です。

一次救命処置の重要性を再認識した講習会でした。

活用した教育の推進を目指す

平成28年12月5日(月)高久小学校において、第2回那須町ICT(情報通信技術)教育活用研究会が開催され民生文教常任委員会と25人の教諭の参加で実施されました。

研修会の目的は、今年度より順次整備される、電子黒板やタブレット端末などのICT機器の活用に関する研修を実施し、今後、各校での活用が適切に行われることであります。

視察内容については、木澤教諭による、高久小学校での取り組み状況、石倉教諭による※ロイロノートを活用した研究事業(3学年)を拝聴し、その後、指導助言及び講話として「これからのICT教育と古河市の取り組みについて」古河市教育委員会の平井総一郎氏から実情について拝聴しました。

子どもたちのタブレットの使い方や、電子黒板を活用した授業では、まさに次世代の学習環境の変貌に、皆、感歎の極みで視察しておりました。



※ロイロノート

写真、動画、テキスト、Webなどのカードをつなぐだけで簡単にプレゼンテーションが行えるツールです。